



eco会計クラウド ご紹介資料

2023/5/31

株式会社○○○○：山田太郎

eco会計クラウドとは、現役税理士監修によるクラウド型会計ツール

証憑画像の読み取りから証憑データの登録・仕訳までの一連の作業にAI自動化技術活用の特許を取得しています。また、はじめから電子帳簿保存法（電帳法）を想定して設計されているため、業務導入がスムーズです。税率の変動にも完全対応しており、日々の会計業務の効率化にお役立ていただけます。



eco会計クラウドのサービス全体イメージ

クラウドへ「データ保存」

証憑保存機能

&

OCR自動読み取り機能

会計仕訳

AI自動仕訳（特許取得）

自動消込

決算書作成

電子帳簿保存法対応完了

会計処理完了

eco会計クラウドのココがすごい！

POINT 1

はじめから電子帳簿保存法
に向けて開発されており業
務導入がスムーズ。



POINT 2

導入後の作業量が劇的な
削減が実証済み。

1/3

POINT 3

スキャンした証憑をクラウドAI
で自動仕訳する特許技術を
搭載。



※銀行連携機能

全銀行フォーマットの取り込みは可能ですが、全自动の銀行連携はございません。



eco会計クラウドの特徴

大幅作業軽減のヒミツは特許取得の証憑OCR画像自動仕訳技術

eco会計クラウドは、証憑をクラウドにアップすれば誰でも経理処理が行え、証憑と会計伝票が一体で管理できます。記帳代行を受託している会計事務所は、自社で経理を行う形態にスムーズに移行でき、正しい仕訳かチェックすることが可能です。紙の保存が必要ないスキヤナ保存制度に準拠しているので、証憑の保管が不要になります。eco会計クラウドは、証憑の分類から自動仕訳まで簡単におこなえる特許を取得していますが、自動仕訳の精度をさらに向上させるため以下の機能が実装されています。

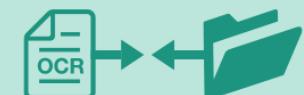
※OCR精度について

GoogleのAIエンジンを使用しておりますが、証憑の書式によっては自動読み取りが機能しない場合がございます。



電子帳簿保存法（電帳法）に対応した業務を前提に設計

多くの会計ソフトは、入力した会計データに対してあとから証憑の登録や保存を行う手順のため、最初の会計データ入力作業には一定の時間がかかることがあります。eco会計クラウドは電帳法に最適な業務手順で設計されており、最初に証憑を取り込み自動でデータ化し業務の手間を極限まで軽減しています。



クラウドにアップした証憑に
仕訳データを自動追加！

導入企業様の経理部門だけでなく、経営状況の分析・改善を強力に支援

eco会計クラウドは、フォーバルグループの展開する中小・小規模企業の次世代経営支援プラットホーム「きづなPARK」と完全連携しています。様々な業界業種企業の匿名化された経理データが蓄積され、きづなPARKのGDXアドバイザーが導入企業様の経営状況を客観的に分析し改善アドバイスを行います。



eco会計クラウドの強み（他社のクラウドソフトとの違い）

◆ eco会計クラウドは？

証憑



証憑



仕訳データ

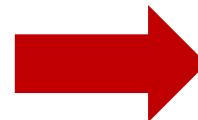
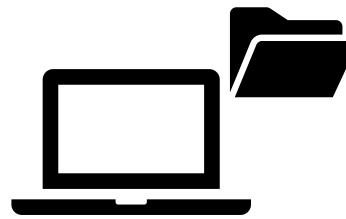


まず証憑に必要な
データをもたせる

証憑に
仕訳データを追加

先に証憑を「データ」として活かす！だから、電子帳簿保存法だけの対応も可能！

◆ 一般的なクラウド会計サービス



証憑



仕訳データ



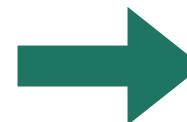
会計の仕訳処理

証憑と仕訳データ
を紐づけ

会計処理を行わないと、電子帳簿保存法に対応できない。



(例) 登録画面イメージ



「発生日付」
「取引先」
「金額」
「証憑分類」
の必要情報は
「OCR機能」で
自動で読み込みます！

※証憑によっては
読み取れない場合も
あり、その時は補足入
力します。

会計ソフト機能

証憑を取り組んだので、続けて会計ソフトとして、会計処理を行うこともできます。

「eco会計クラウド」の特徴は、以下の2点。

① AIが学習し、自動仕訳

仕訳を行う度にAIが学習し、取引先を認識していくので、次からの仕訳作業がドンドン自動化されます。

仕訳業務が大幅に削減されます。

(特許取得技術：特許第4783200号)

② クラウドなので場所を選ばない

クラウドソフトなので、顧問の先生との連携やスタッフ同士の作業分担なども容易にできます。

一般的な会計ソフトはまだまだオンプレミスが多いのも現状で、

そうなると「インストールしたPC出ないと作業が出来ない」や顧問の先生がデータを買うために「訪問」や、「書類を郵送する」などの作業が必要になります。クラウドであればすべて解決します。

※ソフトについて

会計ソフト機能としては、伝票入力がメインのソフトウェアであり、税務会計というよりは管理会計に特化したソフトウェアとなります。

また、自動仕訳等の機能が搭載されておりますが、会計ソフトの入れ替えは本職の税理士でもかなりの工数を消費しますので、月次の可視化に特化する場合は、管理会計がメインのソフトウェアであるとお伝え頂く方が期待値のコントロールがしやすいソフトウェアとなります。

電子帳簿保存法対応のサービスを利用せずに今回の法律改正に対応する方法として、国税庁は下記の「表計算ソフトと規則的なファイル保存」を紹介しています。

◆検索機能を確保する簡易な方法について

下記のいずれかの方法でも、検索機能を確保していることとなります。

◆表計算ソフト等で索引簿を作成する方法

表計算ソフト等で索引簿を作成しておくことで、表計算ソフト等の機能を使って検索する方法です。

◆規則的なファイル名を付す方法

データのファイル名に規則性をもって「日付・金額・取引先」を入力し、特定のフォルダに集約しておくことで、フォルダの検索機能が活用できるようになる方法です。

(例) 2021年1月31日 (株)露商店からの110,000円の請求書なら「20210131_110000_(株)露商店」
※税務調査の際に、税務職員からデータのダウンロードの求めがあった場合には、上記のデータについて提出してください。

【イメージ】

連番	日付	金額	取引先	備考
1	20210131	110000	(株)露商店	請求書
2	20210210	330000	国税工務店(株)	注文書
3	20210228	330000	国税工務店(株)	領収書
⋮				
49	20211121	220000	(株)露商店	請求書
50	20211127	55000	国税工務店(株)	領収書

【イメージ】

- PDF 20210131_110000_(株)露商店.pdf
- MSG 20210210_330000_国税工務店(株).msg
- PDF 20210228_330000_国税工務店(株).pdf
- MSG 20211121_220000_(株)露商店.msg

両者で作業時間がどれくらい違うのか、比較！

「eco会計クラウド」で
データ保存と会計処理

vs

一般的な会計ソフトの会計処理と
国税庁の紹介する方法を使ったデータ保存

【比較する作業の前提条件】

- ・証憑の登録、仕訳作業を行う
- ・過去に取引があるお客様の仕訳作業

「eco会計クラウド」

53秒

一般的な会計ソフト

2分32秒

▶ 1分39秒

作業時間差
およそ1／3の時間で
作業が完了します

圧倒的に作業時間が短縮できます。

創出できた新たな時間は価値ある仕事に活かしましょう！

その他、操作方法等ご不明点がありましたら、
下記までご連絡願います。

引き続き何卒宜しくお願ひ申し上げます。

eco会計クラウド サポート
お問い合わせ: support@forval-lc.co.jp